

# 「プラスチック射出成形の金型内センシング に関する研修会」開催のご案内

主 催：愛知県、愛知工研協会

後 援：愛知県プラスチック成形工業組合

欧州を中心に、包装材や自動車への再生材利用を義務付ける動きが加速しており、資源を有効に循環利用するサーキュラーエコノミーへの転換が求められています。現状、プラスチックリサイクルの主流となっているのはマテリアルリサイクルですが、再生プラスチックの品質にはらつきが大きく、バージン材と同等の成形品質を保持するための技術が必要です。

その解決策の一つとして、射出成形時、金型内に圧力・温度センサーを取り付け、成形品質を制御する、金型内センシングがあります。金型内センサーを設置することにより、金型内の樹脂がどんな温度・圧力で流動しているかを計測し、金型内の状態を“見える化”することができます。良品成形時の状態を把握し、材料の品質がばらついても安定した成形品質の確保が可能となります。

今回、実習形式による射出成形の金型内センシングに関する研修会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

**【日 時】** 2026年1月29日（木）  
午後1時～午後4時

**【会 場】** あいち産業科学技術総合センター産業技術センター  
1階 179室  
〒448-0013 刈谷市恩田町一丁目 157 番地1

## 【内 容】

射出成形における成形不良は、“樹脂粘度の変動”によって発生している場合が多く、粘度を管理することが重要となります。粘度は材料特性と温度、速度、圧力、冷却速度などのパラメータが相互に影響します。それらをセンサーで計測することで、粘度変化をデータに基づき把握することができます。実習では、センサーを搭載した金型を射出成形機に取り付け、実際に成形しながら、どのようなデータを採れるか、そのデータをどのように活用できるか、詳しく解説していただきます。

講師 双葉電子工業株式会社

精機事業センター ソリューション部 成形技術課 石綿 靖雄 氏

**【定 員】** 10名 ※申込先着順

**【参加費】** 無料

## 【申込方法】

次のいずれかの方法により、お申込みください。

### (1) Webページの申込みフォームによるお申込み

以下のURL又は右の二次元コードからセンターのWebページにアクセスし、「プラスチック射出成形の金型内センシングに関する研修会」の申込フォームにご入力ください。

お申込み後、自動返信にて確認メールを送信します。

<https://www.aichi-inst.jp/sangyou/other/seminar/>



### (2) メールによるお申込み

件名を「プラスチック射出成形の金型内センシングに関する研修会参加希望」とし、企業名、所在地、所属、氏名、電話番号、メールアドレスをご記入の上、以下のアドレスまでお送りください。

kagaku\_2@aichi-inst.jp

お申込み後、確認メールを送信します。

## 【申込期限】 2026年1月23日（金）午後5時まで

※定員になり次第締め切ります。

※受講票は発行しません。 申込時点で定員に達していた場合は、電話またはメールにてお断りの  
ご連絡をします。

※ご記入いただいた個人情報は、当センターからの各種連絡・情報提供のために利用することが  
あります。

## 【問合せ先】

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

化学材料室 高橋、山田、岡田、伊藤、福田

TEL 0566-45-5643

## 【交通のご案内】

- 名鉄一ツ木駅（普通のみ停車）より南（郵便局方向）へ徒歩10分（約800m）
- 名鉄知立駅よりタクシーで10分（約2.0km）
- JR刈谷駅よりタクシーで12分（約2.5km）
- 駐車場：約150台（無料）

